

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成27年10月15日 NO.37

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

9月定例会

平成26年度決算

合併10周年事業など総額で

146億5千万円の歳出決算

9月定例会は、7日から18日まで開かれました。平成26年度の決算数値は、表のとおりです。

歳出総額は、146億5014万円で昨年度の決算と比べて、1709万円

(▲10.4%)の減となりました。

これは、平成25年統合神石高原中学校建設事業の完了や前年度に比べて災害復旧工事が少なかった事が要因です。

実質公債費比率など財政指数はかなり改善されています。地方債(借金)の現在高は131億5078万円(合併時は220億円)となりました。辺地債・過疎債・合併特例債な

どの交付税措置の多い(借金の内70%以上を国から交付される)比較的有利な借金が約半分を占めおり、繰上償還(条件の悪い借金を早く返す)など行財政運営への努力の結果が表れています。

基金残高(定期預金)の総額も95億5369万円と昨年より10.8%増加しています。

しかし、トータルでは全会計ともに黒字決算ですが、前年度と比較した単年度では、介護保険特別会計など5会計が赤字となりました。

人口減による交付税の減額、病院移管交付金の終了、合併交付税措置の終了など、今後の財政運営も予断を許さない状況に変わ

平成26年度決算統計資料

単位：万円

区 分	H25年度	H26年度
財政力指数	0.221	0.219
経常収支比率	76.6%	76.7%
公債費比率	9.7%	8.2%
実質公債費比率	11.5%	10.1%
地方債現在高	135億8734	131億5078
基金残高	86億2602	95億5369

りはありません。

次年度執行の4811万円(繰越明許費)を除き7億2214万円が、平成27年度へ繰越され、一般会計繰越分のうち3億円が財政調整基金として積立てられました。

一般会計は、次ページの表のとおりですが、前年度対比では、自主財源は14.2%の増となっています。ふるさと応援など寄付金(1107.1%増)減債基金など繰入金(56.6%増)の増が要因です。

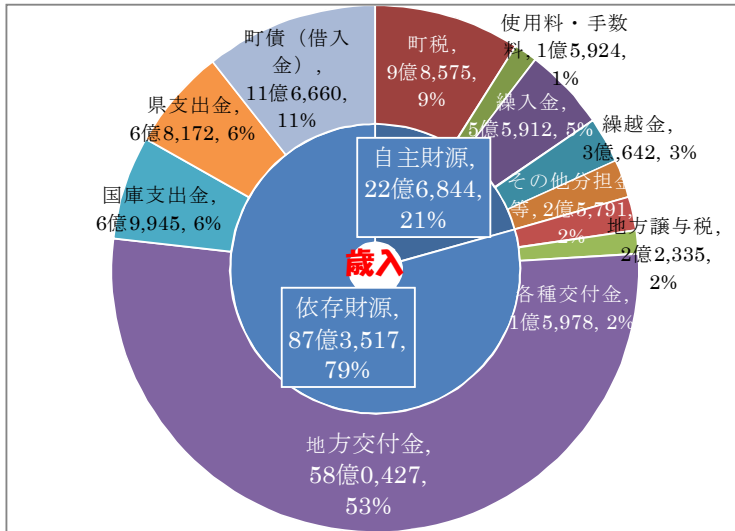
依存財源では、全体の52.7%を占める地方交付金は2%減、統合中学校建設にかかる国庫支出金、病院移管交付金などの県支出金が、それぞれ30.1%の減となっています。

平成26年度収支決算総括表

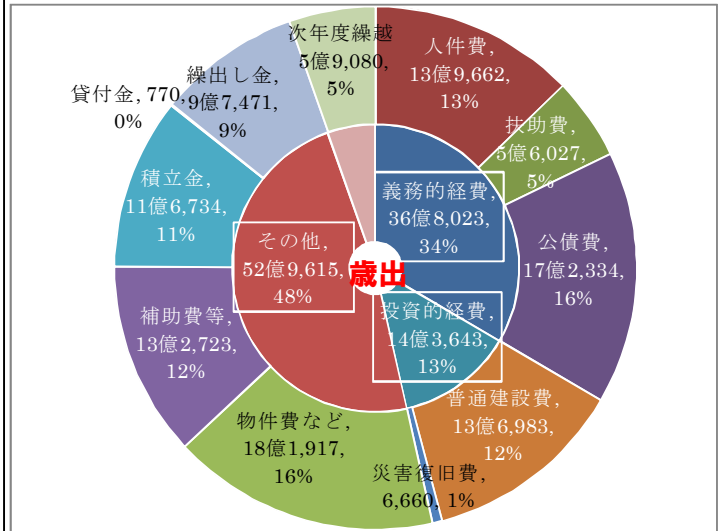
単位：万円(四捨五入)

会 計 名		歳 入	歳 出	明許繰越	差 引
一 般 会 計		110億0361	104億1281	4,811	5億4,269
特 別 会 計	国民健康保険	12億5,445	11億4,726		10,719
	後期高齢者医療	3億8,743	3億8,588		155
	介護保険	19億2,486	18億9,354		3,132
	簡易水道事業	2億0,803	1億9,219		1,584
	飲料水供給施設事業	4,251	3,799		452
	農業集落排水事業	2億6,900	2億5,023		1,877
	総合開発事業	2,165	2,160		5
分収育林事業		7	7		
病院事業会計		3億0,878	3億0,858		20
合 計		154億2039	146億5014	4,811	7億2214
				総繰越額	7億7025

平成 26 年度一般会計歳入歳出比較表



歳入 110億361万円



歳出 104億1281万円

(次年度繰越金には、繰越される事業の財源 4,811万円が含まれます)

平成27年度予算会計別総括表

単位: 万円 (四捨五入)

会計名	H27年度	
	9月補正額	補正後予算額
一般会計	5億8,700	99億8,638
国民健康保険	921	12億7,056
後期高齢者医療	638	4億1,236
介護保険		19億2,842
簡易水道事業	1,054	2億6,216
飲料水供設事業	252	4,192
農業集落排水事業		2億5,202
分収育林事業		5
総合開発事業		2,846
特別会計計	2,865	41億9,595
病院事業会計	413	3億0124
合計	6億1,978	144億8,357

9月補正

総額で144億8357万円。財源の主なものは、普通交付税2億7471万円、寄付金1億2千万円、臨時対策債1億770万円などです。

条例制定・一部改正

- 町立病院看護師就職支度金貸与条例の制定
- *H27.10.01 ~H32.3.31 (5年間)
- *満40歳未満の看護師
- *貸与額250万円/一人

- やすらぎ苑「告别室」使用料
- *葬儀⇒3時間/3万円
- 1時間/1万円
- *通夜⇒3時間/5万円
- 1時間/5千円

- マイナンバーカード手数料
- *通知カード再交付500円
- *カード再発行800円

人権擁護委員の推薦

- 佐伯知省氏 (再任) 三和小川和子氏 (新任) 福永小林伸平氏 (再任) 福永松岡純夫氏 (新任) 油木
- *任期3年間
- ご活躍をお祈り申し上げます。

平成27年9月補正 (一般会計)

(単位: 万円) 四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費		9,117	
総務費	1億5,563	16億1,822	文書管理新システム導入907、庁舎管理エレベータほか304、温泉資源活用 (管路設置) 2,600、ふるさと応援寄付金交付1億1,400、
民生費	1,315	17億9,395	臨時福祉・子育て特例給付金事業403 就労継続支援事業所活動支援事業 (トイレ増築) 510
衛生費	2,023	11億0,331	看護師就職支度金貸与事業 (250万×6人)、 病院事業会計補助413
農林水産費	2,438	9億3,389	木質バイオマス推進協議会設置80、有機農業推進協議会活動補助 (福山市学校給食材使用) 360、有害鳥獣対策 (捕獲班、箱・くくりわな補助) 158、地域営農体制支援 (農業機械導入補助) 372、多面的機能維持活動補助262、堆肥センター設備修繕・機器更新992
商工費	493	1億8,201	雇用促進奨励育成 (起業による雇用1件) 300、スコラ105、商工会12
土木費	28	7億1,047	公営住宅管理経費 (小吹) 28
消防費	191	4億9,490	山崩れ発生予知システム修繕154
教育費	938	7億4,879	共同調理場管理 (食器かご、給食コンテナ) 97、民俗資料館57、神石公民館42、三和総合センター (放送設備・トイレ・グラウンドゴルフ場) 375、体育施設 (高蓋・三和グラウンド・シルトビアテニス・三和野球場) 157、図書館空調ポンプ130
災害復旧費	5,730	5,733	現年農地・農業施設災害復旧1,321、 現年道路橋りょう災害復旧4,409
公債費		14億5,927	
諸支出金	2億9,981	7億5,307	協働のまちづくり事業基金積立1億5,000、 公共施設総合管理基金積立1億5,000
予備費		4,000	
合計	5億8,700	99億8,638	

決算質問

今後の財政運営は

木野山5会計の単年度収支が赤字だ。財政運営について今後の考えは。

町長前年度の繰越額も考慮し財政運営を行っている。必要な基金を設置し健全財政・健全運営に努める。

木野山監査意見書に「ペイオフへの対応」とあるが、**町長**もう少し有利な運用を。と理解している。

木野山財政指数がかなり改善され、資金に余裕が出てきた。財政は行政の手段と言われるが、**町長**の思いは。

町長体質的に本町は自主財源が乏しい。この事を念頭に於いて行財政運営を行うが、将来負担比率がかなりのマイナスとなった。もう少し住民福祉、満足度向上の行政スタイルが求められるかとも思っている。

ローン経営はどんなっているのか

木野山コンビニ「ローソン」の売上は1億2,850万円もある。赤字運営とは思えないが、どうなっているか。

産業課長売上総額のうち経費として占めている販売手数料や人件費がかなり経営を圧迫している。全体的には売上も増加し相乗効果が表れている。いずれにしても野菜部分だけの営業では182の営業は難しいと考えている。

かがやきネットの今後の見通しと方針は

木野山かがやきネット運営は開始から4年経過した。

初期投資分へ対応する基金5億5千万円造成計画の経緯は。

町長平成22年度から順調に積立中だ。機械更新など財源は補助金等も考慮し長いスパンで検討したい。

木野山この事業はみんな喜んでおり財政的に頓挫したら困る。過疎ソフトの部分など細かく見ると厳しい状況ではないか。不安だ。

副町長大幅な更新の場合の財源を少し心配しているが、単年度の収支は安定している。今の料金内で出来る事を行うという前提で運営したい。

補正予算質問

ふるさと応援寄付金の事務手数料

木野山ふるさと応援条例に基づき収受した寄付金を指定団体に対して95%交付する件で、5%の事務手数料収入では足りないというのは本当か。

副町長環境衛生課で行っている犬殺処分ゼロの取組と臨時職員の人件費に使用している。正職員一人分の給与には足りないが、基本的には1億円で500万円有り充足している。

まちづくり推進課長9月補正で予算を1億2千万円増額し、総計で1億7千万円となるので5%では充分な額となります。

木野山支援交付金交付要綱には上限が95%となっている。交付金の減額は可能か。

まちづくり推進課長可能です。が他の部分で貢献して頂ければと思っています。

木野山実績報告書はどうなっている。明細は。

まちづくり推進課長決算報告書と併せてトータルで提出頂いている。

温泉資源活用事業

木野山温泉元から国道沿いまで管路を施設すると言った「温泉資源活用検討事業」は事業計画も確定

していない。
2600万円も投資する事業としては具体性に欠ける。これでは、町民への説得力が無い。
計画を見直し、来年度当初予算に計上すべきだ。

副町長原水の取水場所の整備と取水したものを国道近くに移すという感覚でご理解を頂きたい。

計画は民間か、第3セクターか直営か検討したい。出来れば民間ベースで採算が取ればベストだ。直営なら補助金とか起債とか含めて事業計画を構築したい。



マツダスタジアム カバ広場
H27.7.25
神石牛丸焼き販売（商工会青年部）

一般質問

協働支援センター構想

木野山協働支援センター構想は行政及び住民の課題を解決するため、「まちづくり基本条例」に基づいて提案されました。

あらためて誰と誰が協働するのか。私は住民と町とが対等の立場での協働と思うが、町長は協働の主体についてどう思われるか。

町長住民が主体となってもらいたい。町は住民主体のまちづくりを財政的にまた人的に積極的に支援する。

木野山協働のまちづくりにおいて「自助・共助・公助」をどう捉えるか。

町長行政と住民が補完し合う事が大事だ。自助、共助が、公助が3つあったところか。

木野山お互いが対等での

まちづくりが大事だ。

協働支援センターの組織図では、住民主体となっており「民」の自助・共助を効率よく発揮させる組織となっており「公助」の仕組みが不明だ。

本間に協働の仕組みと化しているのか。地域のニーズや効率よく地域を活性化する仕組みとなっているのか。

また、縦割り解消は、行政側の課題ではないか。解決できない課題は町行政から支援とあるが、その中身が問題では。

町長協働支援センターを立ち上げたのだから、協働のまちづくりの理念をして思いを補完して行く。最初からベストは無い。逐次改正改善する。

木野山人も居なくなつて対応できない地域も出て

くる。「支援」ではなく、出来ないから協働で町の組織と一緒にやりましようだ。

存続できる理想のまちになるよう時間をかけながら良いものにして欲しい。

町長提案しているのは叩き台だ。そこを円卓会議で議論してほしい。良いものを作っていきたい。

木野山課題といっても現状の困っている課題とこれからやりたいという夢・希望の課題とが有る。予算も思い切って付けるという決断も必要と思う。

全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)

木野山①本年4月実施の全国学力・学習状況調査の結果はどうだったか。

また、②平成24・26年度の調査において判明した課題への取組結果は。

③本年度調査結果における課題とその対策は。

教育長①本年度の全国学力調査結果においては、小学校は全ての教科に於いて、平均正答率が全国及び県平均を上回っている。中学校は国語・理科は平均正答率が全国・県平均を上回っている。算数については

全国・県平均を下回っている。

②は、知識問題は伸びを示したが、応用力に課題があった。自らが課題解決する授業を展開している。特に書くことに力を入れる事によりかなり改善した。

③は小・中ともに、基礎的知識活用力が不十分だった。主体的に学びを促し知識技能の確実な定着を図り活用力を育成している。

木野山小・中学校ともに本のレベルは高い。誇りに思います。学習習慣、学習環境調査も肯定的な意見が多く非常に良い傾向が出ています。高く評価します。

いくつかの調査の結果判明した課題は、細かく分析し深く踏み込み課題を把握し、学習環境の整備や子供の教育指導をお願いしたい。

全国学力・学習状況調査(平成27年度)

	国語						算数						理科	
	A			B			A			B				
小学校	① 秋田県	76.0	① 秋田県	76.4	① 秋田県	81.9	① 秋田県	81.2	① 秋田県	51.8	① 秋田県	51.5	① 富山県	67.5
	② 青森県	75.1	② 石川県	73.5	② 石川県	80.3	② 石川県	80.3	② 石川県	50.4	② 石川県	50.4	② 福井県	66.8
	④ 広島県	73.8	⑥ 広島県	69.7	⑥ 広島県	77.7	⑥ 広島県	75.2	⑥ 広島県	46.7	⑥ 広島県	45.0	⑥ 広島県	63.2
	全 国	70.0	全 国	65.4	全 国	65.4	全 国	65.4	全 国	45.0	全 国	45.0	全 国	60.8
中学校	① 秋田県	80.8	① 秋田県	70.7	① 福井県	71.1	① 福井県	62.2	① 福井県	47.7	① 福井県	47.7	① 福井県	61.3
	③ 富山・石川県	78.1	③ 富山・石川県	70.0	③ 富山・石川県	62.2	③ 富山・石川県	62.2	③ 富山・石川県	39.9	③ 富山・石川県	39.9	③ 愛媛県	55.2
	⑤ 東京都	77.2	⑤ 東京都	69.8	⑤ 東京都	61.7	⑤ 東京都	61.7	⑤ 東京都	39.9	⑤ 東京都	39.9	⑤ 徳島県	55.1
	⑦ 広島県	76.5	⑦ 広島県	67.0	⑦ 広島県	64.6	⑦ 広島県	64.6	⑦ 広島県	42.7	⑦ 広島県	42.7	⑦ 広島県	52.2
	全 国	75.8	全 国	65.8	全 国	64.4	全 国	64.4	全 国	41.6	全 国	41.6	全 国	53.0

*県平均と比べたもので、各市町平均と比べたものではありません。あくまで参考値です。